

第3回 学校運営協議会 記録

		学校名	横手市立山内小学校
開催日時・時間・場所		令和6年2月27日（火）・午後3時30分～・山内地域局研修室	
出席者数	8名	欠席者数	3名
協議案件	①これまでの学校運営について ②後期学校評価、保護者アンケート、コミュニティ・スクールの推進に係るアンケート（評価書）の結果について ③今年度の振り返りと来年度に向けての提言		
協議の主な内容	①地域との交流、CSの保護者への周知を中心とした学校運営の報告 ・地域との交流（保育園児体験入学、スキー教室、一人暮らし高齢者へのふれあいのはがき）、オンラインによる他校との交流授業、防煙教室、高齢者疑似体験の紹介。PTAにおけるCSの周知内容（CSについて、運動会の地域枠、地域の方々を招待したなべっこ会、学習発表会での「豊かなる山河」（旧山内村民歌）合唱、山内地域局との連携、学校林活動、木工教室）の紹介。 ②学校評価、保護者アンケート、CS推進に係るアンケートの結果から ・学校評価の内容報告（積極的に発信できる子どもへ）。 ・保護者アンケートから見る子どもたちの様子（地域のよさ…は高評価）。 ・CSアンケートから学校の様子を地域に伝えるための課題。 ③今年度の振り返りと来年度に向けて ○CS2年目で、学校の先生方と意見交換できたのが印象的だった。今後意見交換によって一緒に出来ること、助けて欲しいことは何か声を上げて欲しい。 ○学習発表会は感動した。「豊かなる山河」は、この後も山内地域の皆さんとともに歌っていけるとよい。 ○学校の未来パワーの取組はよいと思う。子どもたちにはコミュニケーション力をつけてほしい。例えば清流太鼓とつながった子どもたちは、一時太鼓から離れる時期があったとしても、大人になってまたつながる可能性がある。いろいろな人たちとつながる経験を大切にしたい。 ○運動会の地域枠はぜひ継続したい。ただし、地域の方が運動会に足を運ぶための仕掛けが必要になってくるだろう。 ●地域が学校に近づいていくための工夫や仕掛けがあるとよい。子どもの発表の場をつくることがきっかけにならないか。 ●地域にいても子どもの姿を見る機会がない。子どものいない家庭は子どもに意識が行かない。子どもの数を考えると、そういう家庭にも届く、浸透する何かがないといけないのかもしれない。 ☆地域コーディネーターとして学校と御嶽清流太鼓の講師との橋渡しをした。できれば、子どもたちが芋の子祭や山内文化祭で発表してくれることを望んでいる。 ☆方向性が定まらないという意見があったが、あまりあれこれと手を広げず、1つ具体的な目標があればよい。その点で、学校林の活動は成果で		

○これまでの取り組みを継続し、今後、実践につなげられそうなこと

●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと

☆今後の取組への提言等

	はないか。子どもたちにはいろいろな経験をして欲しい。できれば山内でしか出来ない経験をたくさん積んで欲しい。ドローンの企業とつながったり、経験豊かな高齢者から話を聞くのもよい。 ☆山内文化祭と学習発表会をぜひ一緒に開催したい。お互いがウィンウィンな形を目指したい。課題やアイデアがあったら声をあげてもらいたい。 ☆先生方からアイデアが出た防災マップづくりはぜひ行って欲しい。日本のどこかよりも自分の住んでいる地域を知ることがまず大切。必要であれば4地区の自主防災会への声かけを行う。
次回の連絡	・引き続き運営委員を務めてくださる方にはよろしく願いしたい。今期限りの方々もぜひ山内小学校の応援団としてお力を貸していただきたい。
記録者	教頭